

## 令和4年度将棋指導者講習会（東海地区会場）

令和5年2月12日（日）午後2時より、名古屋市栄にある愛旅連ビル3階会議室で、将棋普及指導員資格取得を目指す方や初心者への将棋指導に興味のお持ちの方を対象に、将棋指導者講習会が開催されました。18名の方が参加されました。

開会に当たり、常務理事鈴木大介九段より、将棋の普及には将棋普及指導員の貢献が不可欠で、皆様が普及指導員として活動されることを期待しておりますと挨拶されました。

引き続き鈴木九段より、入門者向け指導法と題して以下のような指導の心得を15分わかりやすく披露されました。第1に興味を持たせることが重要で、第2に相手に勝ってもらうことが大切、具体的には頭金が基本であるので相手が頭金で勝てるように誘導する、6枚落ちでは3段目に逃げない、3手違い位にして負けてやる等、第3に相手のねらいを受け入れてあげる（相手の棒銀は成功させてあげる等）、第4に駒落ちでは粘らずに50から60手で終わるようにする、第5に感想戦では相手のいい手をほめてあげるなど。

続いて、神谷広志八段より駒落ち指導対局は玉だけから始め、8枚落ち、6枚落ち、4枚落ち、2枚落ちについて、実際に道場で指導される内容を披露いただきました。また「と金」の価値について、自分は作るが相手に作らせてはダメ、2枚落ちでは攻めと守りのバランスの大切さ、定跡の重要性などについて50分ほど具体的に熱心に解説して戴きました。

最後に山中利夫棋道師範より、指導員試験を東京で受けたこと、将棋の普及活動について行政に相談した時の苦労話、盤駒を持ち込むなど提案しながら成功に至った成功談、刈谷支部での活動、オールトヨタ将棋大会、将棋入門塾、老人ホームへの慰問、支部内の大会、姉妹都市の外国人へ普及など、長年の将棋普及活動について具体的にご披露いただきました。

最後に参加者から熱心な質問が続き、午後5時前に講習会は閉会となりました。



講習会会場



司会者挨拶



常務理事挨拶



鈴木九段による入門者向け指導者の心得について



神谷八段による駒落ち指導対局の方法・解説



山中棋道師範による将棋普及活動の苦労・実績の紹介

以上